

# 自衛隊神奈川地方協力本部

## 体力検定で体力不足を自覚

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、陸上自衛隊武山駐屯地において実施された、平成26年度の体力検定を受検した。

この検定は、神奈川地本勤務の全自衛官を対象に、近傍の駐屯地で行われている。相模原事務所も自衛官が参加し、腕立て伏せ、腹筋、そして難関の3,000メートル走を行った。終了後、「これからは定期的に走ろう」という某広報官の決意が聞かれた。

相模原地域事務所は、「今後、零細時間を活用して、継続的に体力錬成を行い、多忙な業務を克服し得る体力を身につける」としている。



事務所で体力錬成を始めた某広報官

## 平塚七夕祭り懇親会で連携強化

神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 大塚3陸尉）は、7月5日（土）、平塚七夕祭り懇親会に参加し、協力者と連携を図った。

関東3代七夕祭りとして全国的に有名な「湘南ひらつか七夕まつり」は、戦後の復興を願い開催されたもので今年で64回目となるが、この親睦会は、その名前を借りたもの。

懇親会には、神奈川県下の自衛隊関係者約100名が参加し、様々な意見交換が行われた。また懇親会終了後、「今年こそは全目標達成！」と短冊に願いを込めた。相模原地域事務所は、「今後も、自衛隊協力者と連携を図り、募集目標の達成に邁進していく」としている。



懇親会の様子

## 担当6区自治会掲示板にポスターの掲示を依頼

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎1陸尉）は、7月17日（木）・18日（金）・22日（火）の3日間、担当6区の連合自治会町内会連絡協議会に参加し、現在の自衛官募集の状況を説明するとともに、担当区内の自治会町内会掲示板に自衛官募集ポスターの掲示を依頼した。

自治会町内会の掲示板は6区で約7,000箇所あり、自衛官募集の宣伝効果が十分に期待できる。

横浜中央募集案内所は、「厳しい募集環境を理解して頂くとともに、地域と連携した募集広報活動を推進していく」としている。



自衛官募集ポスター